

令和5年第2回三重県議会定例会

予算決算常任委員会  
教育警察分科会資料

所管事項調査

資料1 私債権の放棄

資料2 債権処理計画(令和4年度実績・令和5年度目標)

資料3 令和6年度当初予算編成に向けての基本的な考え方

付託議案審査

資料4 令和4年度歳入歳出決算補充説明書

令和5年11月1日  
警察本部

# 私債権の放棄

警察本部

## 令和4年度 私債権の放棄について

「三重県債権の管理及び私債権の徴収に関する条例」第14条の規定に基づき、私債権を放棄しましたので、以下のとおり報告いたします。

### <令和4年度 警察本部関係放棄債権>

(単位：件、円)

債権名	案件数	金額	放棄事由
信号交差点における交通事故の賠償金	1	1,209,600	条例第14条第1項第1号

#### <債権の概要>

交通事故に伴う交通信号機の破損に係る損害賠償金弁償金

#### <債権放棄事由>

債務者が既に死亡しており、かつ、差し押さえることができる財産の価額が強制執行の費用を超えないこと、及び相続人が相続放棄をしたことから、徴収停止の措置を採っていましたが、当該措置から3年を経過した後も、なおこれらに該当する事由が認められるため、条例第14条第1項第1号に基づき債権放棄を行いました。

#### ※ 「三重県債権の管理及び私債権の徴収に関する条例」抜粋

(徴収停止)

第十一条 知事等は、私債権で履行期限後相当の期間を経過してもなお完全に履行されていないものについて、次の各号のいずれかに該当し、これを履行させることが著しく困難又は不相当であると認めるときは、規則等で定めるところにより、以後その保全及び取立てをしないことができる。

一 (略)

二 債務者の所在が不明であり、かつ、差し押さえることができる財産の価額が強制執行の費用を超えないと認められるときその他これに類するとき。

(私債権の放棄)

第十四条 知事等は、私債権について次の各号のいずれかに該当する場合には、当該私債権及びこれに係る損害賠償金等を放棄することができる。

一 第十一条の規定による措置を採った私債権について、当該措置を採った日から三年を経過した日以後においても、なお同条各号のいずれかに該当する事由があると認められるとき。



債権処理計画（令和4年度実績・令和5年度目標）

三重県警察本部



## 令和4年度 債権処理計画（実績）

総括票	-----	1
個 票		
放置違反金	-----	2
損害賠償金弁償金（交通信号機）	-----	3
損害賠償金弁償金（大型道路標識）	-----	4
損害賠償金弁償金（鈴鹿署神戸交番）	-----	5
損害賠償金弁償金（松阪署留置施設）	-----	6
損害賠償金弁償金（亀山署川崎駐在所）	-----	7
損害賠償金弁償金（四日市南署諏訪交番）	-----	8
自動販売機等光熱水費負担金（いなべ署）	-----	9
自動販売機等光熱水費負担金（名張署）	-----	10

## 令和5年度 債権処理計画（目標）

総括票	-----	11
個 票		
放置違反金	-----	12
損害賠償金弁償金（交通信号機）	-----	13
損害賠償金弁償金（大型道路標識）	-----	14
損害賠償金弁償金（鈴鹿署神戸交番）	-----	15
損害賠償金弁償金（松阪署留置施設）	-----	16
損害賠償金弁償金（亀山署川崎駐在所）	-----	17
損害賠償金弁償金（四日市南署諏訪交番）	-----	18
自動販売機等光熱水費負担金（名張署）	-----	19



様式(実績2)

令和4年度 債権処理計画(実績・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 令和4年度実績

債権の性格	種別	A 令和3年度実績	B 当初(令和3年度末)	C 令和4年度目標(4年度発生分を除く。)			D 実績(令和4年度末)(4年度発生分を除く。)				E 4年度発生分期末残高	F 令和4年度末B-D+E	主な債権
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
3-1 強制徴収公債権	回収対象	1,515,000円 101件		1,600,000円 110件	回収率	105.6	1,258,632円 87件	回収率	83.1	78.7			放置違反金
	整理対象	121,000円 8件		141,000円 9件	整理率	108.9	176,000円 12件	整理率	86.1	79.1			
						116.5			145.5	124.8			
	計	1,636,000円 109件	3,104,632円 212件	1,741,000円 119件	処理率	56.1	106.4	1,434,632円 99件	処理率	46.2	87.7	82.4	
3-2 非強制徴収公債権	回収対象	0円 0件		0円 0件	回収率		0円 0件	回収率					
	整理対象	0円 0件		0円 0件	整理率		0円 0件	整理率					
	計	0円 0件	0円 0件	0円 0件	処理率			0円 0件	処理率			0円 0件	
3-3 私債権	回収対象	383,000円 0件		2,262,635円 1件	回収率	590.8	271,635円 1件	回収率	70.9	12.0			損害賠償金弁償金 光熱水費負担金
	整理対象	0円 0件		1,209,600円 1件	整理率		1,209,600円 1件	整理率		100.0			
										100.0			
	計	383,000円 0件	30,595,114円 18件	3,472,235円 2件	処理率	11.3	906.6	1,481,235円 2件	処理率	4.8	386.7	42.7	
合計	回収対象	1,898,000円 101件		3,862,635円 111件	回収率	203.5	1,530,267円 88件	回収率	80.6	39.6			
	整理対象	121,000円 8件		1,350,600円 10件	整理率	109.9	1,385,600円 13件	整理率	87.1	79.3			
						1,116.2			1,145.1	102.6			
	計	2,019,000円 109件	33,699,746円 230件	5,213,235円 121件	処理率	15.5	258.2	2,915,867円 101件	処理率	8.7	144.4	55.9	



様式(実績1)

令和4年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規: 道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取組方針	<p>・滞納者に対して、市町村役場や電気、ガス等の生活インフラに対する所在調査を十分に行い、その把握に努める。</p> <p>・滞納者の所在判明後は、電話催促、訪問催促を行い、違反金の回収を行う。</p> <p>・訪問催促等を行っても違反金の回収を行えないものについては、滞納者の資産照会を行い預貯金等の現金を差押える他、滞納者居宅に対する捜索を行い、ゲーム機等換価処分が望めるものを差押え、インターネット公売を活用し、その売却益を違反金に充当する。</p>
8 取組成果	<p>令和4年度当初目標(回収対象1,600,000円、整理対象141,000円)を達成するため、</p> <p>・電話催促、訪問催促</p> <p>・金融機関に対する預貯金照会</p> <p>・滞納者の預貯金や、居宅に対する捜索差押え</p> <p>を行った結果、回収実績は1,258,632円であった。</p> <p>また、整理対象は、新たな整理対象を発見し、整理実績は176,000円であった。</p>

滞納債権の現状

9 令和4年度実績

債権の性格	種別	A 令和3年度実績	B 当初(令和3年度末)	C 令和4年度目標(4年度発生分を除く。)			D 実績(令和4年度末)(4年度発生分を除く。)				E 4年度発生分期末残高	F 令和4年度末 B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
9-1 強制徴収公債権	回収対象	1,515,000 円		1,600,000 円	回収率	105.6	1,258,632 円	回収率	83.1	78.7				
		101 件		110 件	回収率	108.9	87 件	回収率	86.1	79.1				
	整理対象	121,000 円		141,000 円	整理率	116.5	176,000 円	整理率	145.5	124.8				
		8 件		9 件	整理率	112.5	12 件	整理率	150.0	133.3				
	計	1,636,000 円	3,104,632 円	1,741,000 円	処理率	56.1	106.4	1,434,632 円	処理率	46.2	87.7	82.4	754,000 円	2,424,000 円
		109 件	212 件	119 件	処理率	56.1	109.2	99 件	処理率	46.7	90.8	83.2	54 件	167 件



様式(実績1)

令和4年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交通信号機)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う交通信号機の破損に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取組方針	継続的に電話又は自宅訪問を行い、支払いを催促するとともに、債務者の稼働状況や生活状況を入念に調査し、債権回収を図っていきます。
8 取組成果	電話催告及び自宅訪問を実施して納付を促しましたが、生活困窮のため納入が滞り、目標金額の回収には至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和4年度実績

債権の性格	種別	A 令和3年度実績	B 当初(令和3年度末)	C 令和4年度目標(4年度発生分を除く。)			D 実績(令和4年度末)(4年度発生分を除く。)				E 4年度発生分期末残高	F 令和4年度末B-D+E	
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
9-3 私債権	回収対象	345,000 円	/	2,040,000 円	回収率	591.3	174,000 円	回収率	50.4	8.5	/	/	
		0 件	/	0 件	回収率		0 件	回収率			/	/	
	整理対象	0 円	/	1,209,600 円	整理率		1,209,600 円	整理率		100.0	/	/	
		0 件	/	1 件	整理率		1 件	整理率		100.0	/	/	
	計	345,000 円	20,675,400 円	3,249,600 円	回収率	15.7	941.9	1,383,600 円	回収率	6.7	401.0	0 円	19,291,800 円
		0 件	12 件	1 件	回収率	8.3		1 件	回収率	8.3	100.0	0 件	11 件



様式(実績1)

令和4年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(大型道路標識)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う大型道路標識の損壊に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取組方針	電話催促、訪問等を行い、分割納付計画に従った納付を促し、債権回収を図っていきます。
8 取組成果	令和4年度の当初目標(回収対象・120,000円)を達成するため、定期的に電話催促等を実施して、債務者に納付を促したものの、生活困窮者であり、分割納付計画に従うことができず、目標の金額には至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和4年度実績

債権の性格	種別	A 令和3年度実績	B 当初(令和3年度末)	C 令和4年度目標(4年度発生分を除く。)			D 実績(令和4年度末)(4年度発生分を除く。)				E 4年度発生分期末残高	F 令和4年度末 B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
9-3  私債権	回収対象	30,000 円	/	120,000 円	回収率	400.0	40,000 円	回収率	133.3	33.3	/	/		
		0 件	/	0 件	回収率		0 件	回収率			/	/		
	整理対象	0 円	/	0 円	整理率		0 円	整理率			/	/		
		0 件	/	0 件	整理率		0 件	整理率			/	/		
	計	30,000 円	720,000 円	120,000 円	処理率	16.7	400.0	40,000 円	処理率	5.6	133.3	33.3	0 円	680,000 円
		0 件	1 件	0 件	処理率	0.0		0 件	処理率	0.0			0 件	1 件



様式(実績1)

令和4年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(鈴鹿署神戸交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	運転していた自動車を鈴鹿警察署神戸交番に繰り返し衝突させ、ドア及び壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者が刑事収容施設に収容中であるため
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難となっていますが、引き続き債務者の連絡先等の確認を行うよう努めます。
8 取組成果	債権の回収に至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和4年度実績

債権の性格	種別	A 令和3年度実績	B 当初(令和3年度末)	C 令和4年度目標(4年度発生分を除く。)			D 実績(令和4年度末)(4年度発生分を除く。)				E 4年度発生分期末残高	F 令和4年度末 B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3  私債権	回収対象	0円	/	0円	回収率		0円	回収率			/	/
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率			/	/
	整理対象	0円	/	0円	整理率		0円	整理率			/	/
		0件	/	0件	整理率		0件	整理率			/	/
	計	0円	8,828,119円	0円	処理率	0.0	0円	処理率	0.0		0円	8,828,119円
		0件	1件	0件	処理率	0.0	0件	処理率	0.0		0件	1件



様式(実績1)

令和4年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(松阪署留置施設)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	松阪警察署留置施設面会室において、弁護士と接見中に激高し、通話口の亚克力ボードに椅子を叩きつけ損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難となっていますが、引き続き債務者の連絡先等の確認を行うよう努めます。
8 取組成果	債務者は刑事収容施設を出所後、県外の自主生活訓練施設に入所中です。生活困窮者のため納入が滞り、債権の回収には至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和4年度実績

債権の性格	種別	A 令和3年度実績	B 当初(令和3年度末)	C 令和4年度目標(4年度発生分を除く。)				D 実績(令和4年度末)(4年度発生分を除く。)				E 4年度発生分期末残高	F 令和4年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
9-3  私債権	回収対象	0円		0円	回収率		0円	回収率					
		0件		0件	回収率		0件	回収率					
	整理対象	0円		0円	整理率		0円	整理率					
		0件		0件	整理率		0件	整理率					
	計	0円	48,600円	0円	処理率	0.0	0円	処理率	0.0		0円	48,600円	
		0件	1件	0件	処理率	0.0	0件	処理率	0.0		0件	1件	



様式(実績1)

令和4年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(亀山署川崎駐在所)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	亀山警察署川崎駐在所において、同事務所の入り口引き戸ガラスに投石し、これを損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者が刑事収容施設に収容中であるため
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	現在、刑事収容施設に収監中のため、現状での債権回収は困難となっていますが、引き続き債務者の連絡先等の確認を行うよう努めます。
8 取組成果	債権の回収に至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和4年度実績

債権の性格	種別	A 令和3年度実績		B 当初(令和3年度末)		C 令和4年度目標(4年度発生分を除く。)			D 実績(令和4年度末)(4年度発生分を除く。)				E 4年度発生分期末残高	F 令和4年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3  私債権	回収対象	0円	/	0円	回収率			0円	回収率			/	/	
		0件	/	0件	回収率			0件	回収率			/	/	
	整理対象	0円	/	0円	整理率			0円	整理率			/	/	
		0件	/	0件	整理率			0件	整理率			/	/	
	計	0円	45,360円	0円	処理率	0.0		0円	処理率	0.0			0円	45,360円
		0件	1件	0件	処理率	0.0		0件	処理率	0.0			0件	1件



様式(実績1)

令和4年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(四日市南署諏訪交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	四日市南署諏訪交番の掲示板のガラスを蹴破り、背板とホワイトボード等を損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	分割納付計画に従った納付を促し、債権回収を図っていきます。
8 取組成果	債務者の生活困窮のため納入が滞り、目標金額の回収には至りませんでした。

滞納債権の現状

9 令和4年度実績

債権の性格	種別	A 令和3年度実績	B 当初(令和3年度末)	C 令和4年度目標(4年度発生分を除く。)			D 実績(令和4年度末)(4年度発生分を除く。)				E 4年度発生分期末残高	F 令和4年度末B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
9-3  私債権	回収対象	8,000円	/	60,000円	回収率	750.0	15,000円	回収率	187.5	25.0	/	/		
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率			/	/		
	整理対象	0円	/	0円	整理率		0円	整理率			/	/		
		0件	/	0件	整理率		0件	整理率			/	/		
	計	8,000円	235,000円	60,000円	回収率	25.5	750.0	15,000円	回収率	6.4	187.5	25.0	0円	220,000円
		0件	1件	0件	回収率	0.0		0件	回収率	0.0			0件	1件



様式(実績1)

令和4年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	自動販売機等光熱水費負担金
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	行政財産目的外使用に係る光熱水費負担金
4 滞納となった要因等	県外金融機関での納付による収納遅れ (令和4年4月28日納付、令和4年5月10日収納)
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	いなべ警察署

7 取組方針	令和4年5月10日に収納済みです。
8 取組成果	

滞納債権の現状

9 令和4年度実績

債権の性格	種別	A 令和3年度 実績	B 当初 (令和3年度末)	C 令和4年度 目 標 (4年度発生分を除く。)			D 実績(令和4年度末) (4年度発生分を除く。)				E 4年度発生分 期末残高	F 令和4年度末 B-D+E	
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
9-3  私債権	回収対象	0 円		42,635 円	回収率		42,635 円	回収率		100.0			
		0 件		1 件	回収率		1 件	回収率		100.0			
	整理対象	0 円		0 円	整理率		0 円	整理率					
		0 件		0 件	整理率		0 件	整理率					
	計	0 円	42,635 円	42,635 円	処理率	100.0	42,635 円	処理率	100.0		100.0	0 円	0 円
		0 件	1 件	1 件	処理率	100.0	1 件	処理率	100.0		100.0	0 件	0 件



様式(実績1)

令和4年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	自動販売機等光熱水費負担金
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	行政財産目的外使用に係る光熱水費負担金
4 滞納となった要因等	県外金融機関での納付による収納遅れ (令和5年4月25日納付、令和5年5月8日収納)
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	名張警察署

7 取組方針	令和5年5月8日に収納済みです。
8 取組成果	

滞納債権の現状

9 令和4年度実績

債権の性格	種別	A 令和3年度実績		C 令和4年度目標 (4年度発生分を除く。)				D 実績(令和4年度末) (4年度発生分を除く。)				E 4年度発生分 期末残高	F 令和4年度末 B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
9-3  私債権	回収対象	0円	/	0円	回収率		0円	回収率			/	/	
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率			/	/	
	整理対象	0円	/	0円	整理率		0円	整理率			/	/	
		0件	/	0件	整理率		0件	整理率			/	/	
	計	0円	0円	0円	処理率		0円	処理率			33,723円	33,723円	
		0件	0件	0件	処理率		0件	処理率			1件	1件	



様式(目標2)

令和5年度 債権処理計画(目標・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 令和5年度目標

債権の性格	種別	A 令和4年度末	B 令和5年度 目標 (5年度発生分を除く。)				C 令和5年度当初に存在する債権にかかる令和4年度処理額 (4年度発生分を除く。)	主な債権
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数		全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数	
3-1 強制徴収 公債権	回収		1,300,000 円	回収率		103.3	1,258,632 円	放置違反金
			90 件	回収率		103.4	87 件	
	整理		210,000 円	整理率		119.3	176,000 円	
			14 件	整理率		116.7	12 件	
計	2,424,000 円 167 件	1,510,000 円 104 件	処理率	62.3	105.3	1,434,632 円 99 件		
3-2 非強制徴収 公債権	回収		0 円	回収率			0 円	
			0 件	回収率			0 件	
	整理		0 円	整理率			0 円	
			0 件	整理率			0 件	
計	0 円 0 件	0 円 0 件	処理率			0 円 0 件		
3-3 私債権	回収		2,323,083 円	回収率		1,014.4	229,000 円	損害賠償金弁済金 自動販売機光熱水費
			2 件	回収率			0 件	
	整理		3,908,400 円	整理率			0 円	
			2 件	整理率			0 件	
計	29,147,602 円 17 件	6,231,483 円 4 件	処理率	21.4	2,721.2	229,000 円 0 件		
合計	回収		3,623,083 円	回収率		243.5	1,487,632 円	
			92 件	回収率		105.7	87 件	
	整理		4,118,400 円	整理率		2,340.0	176,000 円	
			16 件	整理率		133.3	12 件	
計	31,571,602 円 184 件	7,741,483 円 108 件	処理率	24.5	465.3	1,663,632 円 99 件		

※ 前年度に完済した債権は、現年度の債権処理計画(目標)を作成しないことから、C欄に含まれません。  
完済した債権を含む前年度の債権処理実績は、別冊「債権処理計画(実績)」でまとめています。



様式(目標1)

令和5年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規: 道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納者に対して、市町村役場や電気、ガス等の生活インフラに対する所在調査を十分にを行い、その把握に努める。</li> <li>・滞納者の所在判明後は、電話催促、訪問催促を行い、違反金の回収を行う。</li> <li>・訪問催促等を行っても違反金の回収を行えないものについては、滞納者の資産照会を行い預貯金等の現金を差押える他、滞納者居宅に対する搜索を行い、ゲーム機等換価処分が望めるものを差押え、インターネット公売を活用し、その売却益を違反金に充当する。</li> </ul>
--------	---

滞納債権の現状

8 令和5年度目標

債権の性格	種別	A 令和4年度末		B 令和5年度目標 (5年度発生分を除く。)			C 令和5年度当初に存在する債権 にかかる令和4年度処理額 (4年度発生分を除く。)		備考	
		未済額	未済件数	処理額	処理件数	回収率・整理率		処理額		
						全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-1  強制徴収 公債権	回収			1,300,000 円	回収率		103.3	1,258,632 円		
				90 件	回収率		103.4	87 件		
	整理			210,000 円	整理率		119.3	176,000 円		
				14 件	整理率		116.7	12 件		
	計		2,424,000 円		1,510,000 円	処理率	62.3	105.3	1,434,632 円	
			167 件		104 件	処理率	62.3	105.1	99 件	



様式(目標1)

令和5年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交通信号機)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う交通信号機の破損に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取 組 方 針	継続的に電話又は自宅訪問を行い、支払いを催促するとともに、債務者の稼働状況や生活状況を入念に調査し、債権回収を図っていきます。
-----------------------	---

滞納債権の現状

8 令和5年度目標

債権の性格	種別	A 令和4年度末	B 令和5年度目標 (5年度発生分を除く。)			C 令和5年度当初に存在する債権にかかる令和4年度処理額 (4年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3  私債権	回収	(斜線)	2,040,000 円	回収率	1,172.4	174,000 円		
		(斜線)	0 件	回収率		0 件		
	整理	(斜線)	3,908,400 円	整理率		0 円		
		(斜線)	2 件	整理率		0 件		
	計	19,291,800 円	5,948,400 円	処理率	30.8	3,418.6		174,000 円
		11 件	2 件	処理率	18.2			0 件



様式(目標1)

令和5年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(大型道路標識)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う大型道路標識の損壊に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取 組 方 針	電話催促、訪問等を行い、分割納付計画に従った納付を促し、債権回収を図っていきます。
-----------------------	---

滞納債権の現状

8 令和5年度目標

債権の性格	種別	A 令和4年度末	B 令和5年度目標 (5年度発生分を除く。)			C 令和5年度当初に存在する債権にかかる令和4年度処理額 (4年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3  私債権	回収	/	120,000 円	回収率	300.0	40,000 円		
		/	0 件	回収率		0 件		
	整理	/	0 円	整理率		0 円		
		/	0 件	整理率		0 件		
	計		680,000 円	120,000 円	処理率	17.6	40,000 円	
			1 件	0 件	処理率	0.0	0 件	







様式(目標1)

令和5年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(松阪署留置施設)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	松阪警察署留置施設面会室において、弁護士と接見中に激高し、通話口の亚克力ボードに椅子を叩きつけ損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取 組 方 針	債務者は刑事収容施設を出所後、県外の自主生活訓練施設に入所中です。生活保護受給者ですが、分割納付計画に従って納付を行う旨の申し出があったため、引き続き債権回収に努めます。
-----------------------	---

滞納債権の現状

8 令和5年度目標

債権の性格	種別	A 令和4年度末		B 令和5年度目標 (5年度発生分を除く。)			C 令和5年度当初に存在する債権にかかる令和4年度処理額 (4年度発生分を除く。)		備考	
		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		
		未済件数		処理件数		全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3  私債権	回収	/		24,000 円	回収率			0 円		
		/		0 件	回収率			0 件		
	整理	/		0 円	整理率			0 円		
		/		0 件	整理率			0 件		
	計	48,600 円		24,000 円	処理率	49.4		0 円		
		1 件		0 件	処理率	0.0		0 件		



様式(目標1)

令和5年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(亀山署川崎駐在所)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	亀山警察署川崎駐在所入り口の引き戸に投石し、ガラスを損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者が刑事収容施設に収容中であるため
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	債務者は現在、刑事収容施設に収監中です。連絡を取った際、出所後は分割納付計画に従って納付を行う旨の申し出があったため、引き続き債権回収に努めます。
--------	---

滞納債権の現状

8 令和5年度目標

債権の性格	種別	A 令和4年度末		B 令和5年度目標 (5年度発生分を除く。)			C 令和5年度当初に存在する債権にかかる令和4年度処理額 (4年度発生分を除く。)		備考	
		未済額	未済件数	処理額	処理件数	回収率・整理率		処理額		
						全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3  私債権	回収			45,360 円	1 件	回収率		0 円		
						回収率		0 件		
	整理			0 円	0 件	整理率		0 円		
						整理率		0 件		
	計		45,360 円		45,360 円	1 件	処理率	100.0	0 円	
				1 件		1 件	処理率	100.0	0 件	



様式(目標1)

令和5年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(四日市南署諏訪交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	四日市南警察署諏訪交番の掲示板のガラスを蹴破り、背板とホワイトボード等を損壊させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取 組 方 針	分割納付計画に従った納付を促し、債権回収を図っていきます。
-----------------------	-------------------------------

滞納債権の現状

8 令和5年度目標

債権の性格	種別	A 令和4年度末		B 令和5年度目標 (5年度発生分を除く。)			C 令和5年度当初に存在する債権にかかる令和4年度処理額 (4年度発生分を除く。)		備考	
		未済額	未済件数	処理額	回収率・整理率		処理額			
				処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数			
8-3  私債権	回収			60,000 円	回収率		400.0	15,000 円		
				0 件	回収率			0 件		
	整理			0 円	整理率			0 円		
				0 件	整理率			0 件		
	計		220,000 円		60,000 円	処理率	27.3	400.0	15,000 円	
			1 件		0 件	処理率	0.0		0 件	



様式(目標1)

令和5年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	自動販売機等光熱水費負担金
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	行政財産目的外使用に係る光熱水費負担金
4 滞納となった要因等	県外金融機関での納付による収納遅れ (令和5年4月25日納付、令和5年5月8日収納)
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	名張警察署

7 取 組 方 針	令和5年5月8日に収納済みです。
-----------------------	------------------

滞納債権の現状

8 令和5年度目標

債権の性格	種別	A 令和4年度末		B 令和5年度目標 (5年度発生分を除く。)			C 令和5年度当初に存在する債権にかかる令和4年度処理額 (4年度発生分を除く。)		備考	
		未済額	未済件数	処理額	回収率・整理率		処理額			
				処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数			
8-3  私債権	回収			33,723 円	回収率			0 円		
				1 件	回収率			0 件		
	整理			0 円	整理率			0 円		
				0 件	整理率			0 件		
	計		33,723 円		33,723 円	処理率	100.0		0 円	
			1 件		1 件	処理率	100.0		0 件	



令和 6 年度当初予算編成に向けての基本的  
な考え方

警 察 本 部



# 施策3-1 犯罪に強いまちづくり

(主担当部局：警察本部)

## 施策の目標

(めざす姿)

県民の皆さんが安全で安心して暮らせる、犯罪の起きにくい社会を構築するため、市町や地域住民、防犯ボランティア団体等との連携による犯罪防止に向けた取組や、県民の皆さんに不安を与える犯罪の早期検挙、これら警察活動を支える基盤の強化が推進されています。また、犯罪被害者等を支える社会の形成に向けて、犯罪被害者等の立場に立った適切かつきめ細かな支援が途切れることなく提供されています。

## 1. 基本事業の取組状況

### 基本事業名

・令和5年度の主な取組

#### ① みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進

- ・昨年、刑法犯認知件数が増加に転じるとともに、県民に強い不安を与える重要犯罪や高齢者等を狙った特殊詐欺、サイバー犯罪に関する相談が後を絶たないほか、ストーカーやDV事案の認知件数が高止まりするなど、治安情勢は予断を許さない状況にあることから、市町や地域住民、防犯ボランティア団体など、様々な主体と連携・協働した犯罪防止対策に取り組めます。
- ・昨年の特殊詐欺被害認知件数に占める高齢者の割合が8割を超えるという現状を踏まえ、市町や団体等と連携し、県民の警戒心・抵抗力の向上を図るための広報啓発を実施するとともに、被害防止に有効な自動通話録音警告機の設置促進等を図り、特殊詐欺被害防止に取り組めます。
- ・G7三重・伊勢志摩交通大臣会合に向け、関係機関や民間事業者等と連携したテロ対処訓練を実施するなど、官民一体となったテロ対策を推進し、警備を完遂しました。
- ・関係機関と連携し、新たに安全安心まちづくり地域リーダーを25名養成(養成講座には53名参加)し、今後、フォローアップ講座を開催します。また、「安全・安心まちづくりフォーラム」を開催し、地域の取組事例を共有することにより、防犯ボランティアの活動向上に取り組めました(90名参加)。令和5年6月からは「安全・安心な三重のまちづくり防犯サポート事業者登録制度」の運用を開始しました。さらに、関係機関等の意見を聴きながら、「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第3弾」(令和6年度～令和8年度)の策定を進めています。

#### ② 犯罪の早期検挙のための活動強化

- ・悪質・巧妙化する犯罪に的確に対処するため、捜査支援分析機器や鑑定機器、ドローンの整備などにより、科学捜査力の維持・向上を図り、重要犯罪を始めとした各種犯罪の早期検挙に取り組めます。
- ・サイバー犯罪に関する相談が後を絶たないなど、サイバー空間における脅威が県民にとって身近なものとなっていることから、最新の情報技術を悪用したサイバー犯罪に的確に対処するため、捜査員の育成を図るなどし、この種事案の検挙に取り組めます。
- ・犯罪の早期検挙に向けて、高度化した通信指令システムを有効活用し、110番通報の適切な受理、迅速・的確な通信指令を推進し、初動警察活動の更なる強化に取り組めます。

#### ③ 警察活動を支える基盤の強化

- ・地域の治安維持、災害拠点となる警察施設の適正な維持管理を図るため、老朽化した警察署の建て替えや長寿命化のほか、鑑定環境の改善と高度化・効率化を図るため、科学捜査研究所庁舎の整備に取り組めます。
- ・老朽化した交番・駐在所においては、構造面の不具合や、相談室がなく来訪者のプライバシーが確保できないなど機能面の不備等も認められることから、計画的な施設整備に取り組めます。



・犯罪の早期検挙に向けて、捜査支援分析の強化を図るため、デジタル技術を活用した高度 AI 画像分析システム等の画像分析機器の導入に取り組みます。

#### ④ 犯罪被害者等支援の充実

・犯罪被害者等の状況に応じた支援を適切に行うため、速やかに三重県犯罪被害者等見舞金給付要領に基づく見舞金を給付（3件、85万円（9月末現在））したほか、ブロック別会議（3ブロック）や支援従事者研修会等の開催（2回開催予定、第1回58名参加）を通じた関係機関相互の顔の見える関係づくり、支援従事者の育成、総合的な犯罪被害者等への支援体制の整備等に取り組んでいます。また、犯罪被害者等が置かれている状況等について県民の皆さんの理解を深めるため、「犯罪被害を考える集い」の開催等の広報啓発を実施します。

・関係機関等の意見を聴きながら、「三重県犯罪被害者等支援推進計画（第2期）」（令和6年度～令和8年度）の策定を進めています。

・犯罪被害者等のニーズに即した支援が行えるよう、部内カウンセラーの専門的な知識の向上を図るとともに、公費負担を始めとする犯罪被害者支援制度の周知・運用に努め、犯罪被害者支援の充実を図ります。



## 2. KPI（重要業績評価指標）の状況

KPIの項目						関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度の 評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
刑法犯認知件数						①②③	
—	6,900件	6,300件 未満	—	5,800件	—	5,000件 未満	—
7,410件	7,647件	—		—	—	—	
特殊詐欺認知件数						①②③	
—	107件	104件未満	—	101件未満	—	95件未満	—
110件	142件	—		—	—	—	
重要犯罪の検挙率						②③	
—	95%以上	95%以上	—	95%以上	—	95%以上	—
89.7%	98.9%	—		—	—	—	
犯罪被害者等支援従事者数（累計）						④	
—	257人	337人	—	417人	—	577人	—
177人	264人	—		—	—	—	



### 3. 令和6年度当初予算編成に向けての基本的な考え方

#### 基本事業名

・令和6年度以降に残された課題と対応

#### ① みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進

- ・ 県民の皆さんが安全で安心して暮らせる、犯罪の起きにくい社会の実現に向け、特殊詐欺を始めとする各種犯罪を未然に防ぎ、社会全体で良好な治安が保たれるよう取組を推進します。
- ・ 県内における大規模行事の開催を見据え、警備諸対策を推進するとともに、テロの未然防止に向け、県民の皆さんの理解と協力の下、引き続き官民一体となったテロ対策に取り組めます。
- ・ 安全で安心な地域づくりを促進するため、「安全・安心な三重のまちづくり防犯サポート事業者登録制度」の登録事業者数の増加を図ります。また、引き続き、地域の自主防犯活動の活性化に向け講座の実施やフォーラムの開催、SNS等を生かした広報活動により、県民の皆さんの防犯意識の向上と関係者の連携強化を図ります。

#### ② 犯罪の早期検挙のための活動強化

- ・ サイバー空間の脅威に的確に対処するため、情報技術の解析に用いる高度な解析用資機材を整備することにより、情報技術解析能力の向上に向けた取組を推進します。
- ・ 犯罪の早期検挙に向けて、防犯カメラ画像の迅速な収集・分析、DNA型鑑定の実施等科学技術を活用した捜査を一層推進します。

#### ③ 警察活動を支える基盤の強化

- ・ 令和5年度に引き続き、大台警察署、尾鷲警察署、科学捜査研究所の庁舎整備を推進するほか、施設の老朽化や狭隘化の状況、県民の利便性等を踏まえ、計画的な警察署庁舎の建て替え、長寿命化に取り組めます。
- ・ 老朽化した交番・駐在所の建て替え、長寿命化に取り組むとともに、パトカー等の車両の更新整備を進めるなど、警察活動を支える基盤の整備に取り組めます。
- ・ 犯罪の警戒・検挙を推進するため、被疑者の早期検挙や追跡捜査に有効な車両捜査支援システムの増強等捜査支援分析力の強化に取り組めます。

#### ④ 犯罪被害者等支援の充実

- ・ 総合的な支援体制を整備するため、関係機関の連携強化に取り組むとともに、市町等支援従事者研修会等の開催をとおして、支援従事者を増やし、重ねて受講いただくことでレベルアップを図ります。
- ・ 県民の皆さん等の犯罪被害者等への一層の理解促進を図るため、犯罪被害を考える週間を中心とした広報啓発に取り組めます。
- ・ 犯罪被害者等が、一人ひとりの心情に寄り添った多様な支援を地域による不均衡なく受けられるよう、国に対し、地方自治体を実施する犯罪被害者等支援の取組に対する財政支援を行うことを要望していきます。



令和 4 年度  
歳入歳出決算補充説明書

警 察 本 部



令和4年度一般会計歳入歳出決算について御説明いたします。

**【歳入】**

警察本部関係の歳入決算額は、

予算現額	51億5,830万9,600円
調定額	50億153万745円
収入済額	49億6,860万3,543円
不納欠損額	135万5,600円
収入未済額	3,157万1,602円

となりました。

**【歳出】**

警察費の歳出決算額は、

予算現額	386億5,467万4,600円
支出済額	382億4,141万8,145円
翌年度繰越額	1億6,657万2,300円
不用額	2億4,668万4,155円

となりました。

以下、「令和4年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、御説明します。

まず、歳入決算についてです。

46頁の第8款使用料及び手数料、第1項使用料、第1目総務使用料のうち警察本部関係は、

予算現額	367万6,000円
調定額	367万5,831円
収入済額	367万5,831円

収入済額の主なものは、警察庁舎の一部の事務所使用料です。

64頁の第2項手数料、第8目警察手数料は、

予算現額	16億8,465万8,000円
調定額	16億8,111万9,610円
収入済額	16億8,111万9,610円

収入済額の主なものは、自動車運転免許証交付等手数料、自動車保管場所証明書交付申請等手数料、更新時講習等手数料、高齢者講習手数料です。



102頁の第9目警察費補助金は、

予算現額	6億	942万3,300円
調定額	5億7,305万3,197円	
収入済額	5億7,305万3,197円	で、

収入済額は、警察費補助金及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金であります。

収入済額が予算現額に比べ、3,637万103円の減収となりましたが、これは、警察費補助金充当事業で翌年度繰越が生じたことなどによるものです。

120頁の第10款財産収入、第1項財産運用収入、第1目財産貸付収入のうち警察本部関係は、

予算現額	8,898万6,000円	
調定額	8,849万9,630円	
収入済額	8,849万9,630円	で、

収入済額の主なものは、警察職員住宅からの家賃下料です。

第2項財産売払収入、第2目物品売払収入のうち警察本部関係は、

予算現額	194万1,000円	
調定額	676万1,208円	
収入済額	676万1,208円	で、

収入済額の主なものは、不用物品売払収入です。

128頁の第12款繰入金、第2項基金繰入金、第1目基金繰入金のうち警察本部関係は、

予算現額	1億9,728万円	
調定額	1億8,486万1,482円	
収入済額	1億8,486万1,482円	で、

収入済額の全てが、財政調整基金繰入金です。

130頁の第13款繰越金、第1項繰越金、第1目繰越金のうち警察本部関係は、

予算現額	4,240万1,300円	
調定額	4,240万1,300円	
収入済額	4,240万1,300円	で、

収入済額は、令和3年度から令和4年度に繰り越した事業に充当したものです。



132頁の第14款諸収入、第1項延滞金、加算金及び過料等、第1目延滞金のうち警察本部関係は、

予算現額	2万5,000円
調定額	5,700円
収入済額	5,700円

で、

収入済額の全てが、放置違反金の延滞金です。

第3目過料等のうち警察本部関係は、

予算現額	2,485万9,000円
調定額	2,768万6,000円
収入済額	2,693万2,000円
収入未済額	75万4,000円

で、

収入済額の全てが、放置違反金です。

なお、収入未済額は、放置違反金の滞納によるものです。

142頁の第8項雑入、第2目雑入のうち警察本部関係は、

予算現額	1億8,879万9,000円
調定額	1億8,552万1,164円
収入済額	1億8,548万7,441円
収入未済額	3万3,723円

で、

収入済額の主なものは、留置施設食費等弁償金、警察職員住宅使用料です。

なお、収入未済額は、自動販売機等光熱水費負担金の滞納によるものです。

146頁の第3目過年度収入のうち警察本部関係は、

予算現額	183万9,000円
調定額	3,384万8,446円
収入済額	170万8,967円
不納欠損額	135万5,600円
収入未済額	3,078万3,879円

で、

収入済額の主なものは、放置違反金です。

不納欠損額は、弁償金の債権放棄、放置違反金の消滅時効によるものです。

なお、収入未済額は、放置違反金及び弁償金の滞納によるものです。



第5目弁償金のうち警察本部関係は、

予算現額	542万2,000円
調定額	709万7,097円
収入済額	709万7,097円 で、

収入済額の主なものは、交通事故損害賠償金です。

148頁の第6目違約金及び延納利息のうち警察本部関係は、

予算現額	0円
調定額	80円
収入済額	80円 で、

収入済額の全てが、物品購入に係る履行遅延が生じたことによるものです。

168頁の第15款県債、第1項県債、第8目警察債は、

予算現額	23億 900万円
調定額	21億6,700万円
収入済額	21億6,700万円 で、

収入済額は、県単警察施設整備費充当及び交通安全施設整備費充当です。

収入済額が予算現額に比べ、1億4,200万円の減収となりましたが、これは、充当事業で翌年度繰越が生じたほか、充当事業で減額が生じたことによるものです。

以上、警察本部関係の歳入決算について御説明しました。

なお、未収金につきましては、所在不明者の追跡調査、電話や訪問による催促等を行い、納付に応じない者には、滞納処分を実施するなど、引き続き、収納確保に努めてまいります。

次に歳出決算について御説明します。

第9款警察費のうち、430頁の第1項警察管理費、第1目公安委員会費は、

予算現額	688万4,000円
支出済額	640万6,715円
不用額	47万7,285円 で、

支出済額の主なものは、公安委員報酬のほか、公安委員会の事務などに要した経費です。



**第2目警察本部費は、**

予算現額	326億2,874万4,000円
支出済額	324億7,907万4,177円
不用額	1億4,966万9,823円  で、

支出済額の主なものは、警察職員の給料のほか、福利厚生、施設運営などに要した経費です。

不用額の主なものは、給与費における職員手当、給料の執行残などです。

**432頁の第3目装備費は、**

予算現額	4億1,421万7,000円
支出済額	4億 653万7,918円
不用額	767万9,082円  で、

支出済額の主なものは、警察活動車両、船舶、航空機等警察機動力の運用・維持、装備資機材の整備などに要した経費です。

不用額の主なものは、警察活動車両用燃料費の執行残などです。

**434頁の第4目警察施設費は、**

予算現額	6億9,879万2,600円
支出済額	6億5,178万7,139円
翌年度繰越額	1,230万6,300円
不用額	3,469万9,161円  で、

支出済額の主なものは、警察署の建替及び改修工事、駐在所建築工事などに要した経費です。

翌年度繰越額は、警察本部及び警察署の電気設備改修工事費で、不用額の主なものは、警察署の建替及び改修工事に伴う設計委託料等の入札差金などです。

**第5目運転免許費は、**

予算現額	6億2,880万4,000円
支出済額	6億2,495万2,129円
不用額	385万1,871円  で、

支出済額の主なものは、運転免許試験、運転免許証更新事務、交通法令違反者に対する行政処分、運転免許更新者等に対する各種講習を実施するために要した経費です。

不用額の主なものは、IC免許証作成システム部品交換作業委託料の執行残などです。



436頁の第6目恩給及び退職年金費は、

予算現額	2,023万3,000円
支出済額	1,947万5,930円
不用額	75万7,070円

支出済額は、退職職員に対する恩給及びその遺族に対する扶助料の支給などに要した経費です。

次に、第2項警察活動費、第1目一般警察活動費は、

予算現額	3億1,015万3,000円
支出済額	3億86万1,853円
不用額	929万1,147円

支出済額の主なものは、警察活動に伴う企画運営、警察教養のほか、捜査活動等の旅費、警察電話や留置施設の維持管理等に要した経費です。

不用額の主なものは、被留置者用食糧費、入校生旅費の執行残などです。

438頁の第2目刑事警察費は、

予算現額	10億748万5,000円
支出済額	9億7,598万7,363円
翌年度繰越額	2,145万円
不用額	1,004万7,637円

支出済額の主なものは、犯罪抑止対策、悪質・重要犯罪や組織犯罪の早期検挙、暴力団排除活動、テロ対策など各種対策の推進に要した経費です。

翌年度繰越額は、通信指令システムの無停電電源システムオーバーホールに伴う委託料で、不用額の主なものは、刑事事件捜査に伴う通訳謝金の執行残などです。

440頁の第3目交通指導取締費は、

予算現額	4億3,496万1,000円
支出済額	4億3,038万3,814円
不用額	457万7,186円

支出済額は、交通指導取締り、交通事故・事件の捜査、各種交通安全教育の実施など、交通事故の防止と交通秩序の確立を図るために要した経費です。

不用額の主なものは、道路使用許可、自動車保管場所証明関係委託料の執行残です。



442頁の第4目交通安全施設整備費は、

予算現額	25億	440万1,000円
支出済額	23億4,595万1,107円	
翌年度繰越額	1億3,281万6,000円	
不用額	2,563万3,893円	で、

支出済額は、交通管制センターの維持、交通信号機や道路標識・標示の設置・改良、交通安全施設の維持に要した経費です。

翌年度繰越額の主なものは、交通管制システム下位装置更新工事費で、不用額の主なものは、交通信号機等の電気料金の執行残です。

以上、令和4年度警察本部関係の歳入歳出決算について御説明しました。



## 令和4年度歳入歳出決算(警察本部関係)

### 【歳入】

単位:円

科目	予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	不納欠損額	収入未済額	差額(B-A)
使用料及び手数料	1,688,334,000	1,684,795,441	1,684,795,441			△ 3,538,559
国庫支出金	609,423,300	573,053,197	573,053,197			△ 36,370,103
財産収入	90,927,000	95,260,838	95,260,838			4,333,838
繰入金	197,280,000	184,861,482	184,861,482			△ 12,418,518
繰越金	42,401,300	42,401,300	42,401,300			
諸収入	220,944,000	254,158,487	221,231,285	1,355,600	31,571,602	287,285
県債	2,309,000,000	2,167,000,000	2,167,000,000			△ 142,000,000
合計	5,158,309,600	5,001,530,745	4,968,603,543	1,355,600	31,571,602	△ 189,706,057

### 【歳出】

単位:円

科目	予算現額	支出済額	繰越額	不用額	備考(主な不用額、繰越額の内容)
警察管理費	34,397,674,600	34,188,234,008	12,306,300	197,134,292	
公安委員会費	6,884,000	6,406,715		477,285	
警察本部費	32,628,744,000	32,479,074,177		149,669,823	・職員手当、給料の執行残
装備費	414,217,000	406,537,918		7,679,082	・警察活動車両用燃料費の執行残
警察施設費	698,792,600	651,787,139	12,306,300	34,699,161	・警察本部、津南警察署の電気設備工事の繰越 ・大台警察署建替、尾鷲警察署大規模改修に係る整備費の執行残
運転免許費	628,804,000	624,952,129		3,851,871	・IC免許証作成システム部品交換作業委託料等の執行残
恩給及び退職年金費	20,233,000	19,475,930		757,070	
警察活動費	4,257,000,000	4,053,184,137	154,266,000	49,549,863	
一般警察活動費	310,153,000	300,861,853		9,291,147	・被留置者用食糧費、入校生旅費の執行残
刑事警察費	1,007,485,000	975,987,363	21,450,000	10,047,637	・通信指令システム無停電電源システムオーバーホール委託料の繰越 ・刑事事件捜査に伴う通訳謝金の執行残
交通指導取締費	434,961,000	430,383,814		4,577,186	・道路使用許可、自動車保管場所証明関係委託料の執行残
交通安全施設整備費	2,504,401,000	2,345,951,107	132,816,000	25,633,893	・交通管制システム下位装置更新工事費の繰越 ・交通信号機等電気料金の執行残
警察費	38,654,674,600	38,241,418,145	166,572,300	246,684,155	